

## 平成22年度第16回高等部卒業証書授与式式辞

高等部55名の卒業生の皆さん、御卒業おめでとうございます。今、ここに55名の卒業生の皆さんの卒業を祝うために集まいただきましたたくさんの方々。御来賓の皆様、卒業生の保護者の皆様、在校生の保護者の皆様、高等部1年生、2年生の後輩たち、本校の先生方。一つになって祝福の大きな拍手を贈ります。

おめでとう。卒業おめでとう。ほんとうにおめでとう。3年間、皆さんの学校生活を見守り続けた、正門に立つ「くすのき」も、皆さんの卒業をお祝いしています。

保護者の皆様、本日はお子様の御卒業、誠におめでとうございます。お子様の誕生の日から今日まで、一つ一つ振り返るにつけて、感慨ひとしおのものが、おありのことと存じます。いよいよ社会に出発する日を迎えられました。重ねて心からお祝い申し上げますとともに、3年間、お子様を本校の教育に託していただきましたことに厚くお礼申し上げます。

広島市長 秋葉忠利様をはじめ、多くの御来賓の皆様、本日は御臨席を賜り誠にありがとうございます。子どもたちの晴れやかな門出を見守り、祝福いただきますことを、日頃の御支援と重ね合わせ、深く感謝申し上げます。

さて、先ほど、卒業生の皆さん一人一人の眼を見つめながら、卒業証書をお渡ししました。本校で3年間頑張ってきた証です。皆さんの名前は、ずっと本校に残ることになります。

皆さんの本校最高学年としての活躍ぶりは、大変立派でした。

生徒会で取り組んだ「挨拶運動」。本校で挨拶の輪が広がりました。明るい笑顔の大切さを学びました。朝のランニング、給食の後の歯磨き、健康の大切さを学びました。体育祭では、みんなと気持ちを一つにすること、仲間の大切さを学びました。文化祭やピースデパートでの販売や接待では、マナーの大切さを学びました。そして、職場実習では、真剣な眼差しで取り組み、働くことの大切さを学びました。

生きること、生活することのために大切な、たくさんのことを学んだ3年間。

ここで皆さんに、五つの文字の魔法の言葉を贈ります。それは、「あ・り・が・と・う」の言葉です。わずから文字の「ありがとう」。それは、魔法の言葉。口に出せば元気が出るし、耳に入れば勇気がわいてきます。感謝できるから幸せになるのです。これまでも、たくさんの方々を支えていただきました。これからも、「ありがとう」の言葉を大切に、たくさん使ってください。

皆さんと接し、皆さんのもつ素晴らしさに何度となく心を打たれました。この広い地球の中で皆さんと巡り会えて本当に良かった。多くの感動をいただきました。ありがとう。私の誇りです。皆さんは、その存在自体が素晴らしいのです。自分らしく輝くのです。

くじけそうになったとき、苦しくて辛くて、どうしようもなく悲しいとき、本校を訪ねてきてください。共に悩み、考えていきたいと思えます。

結びとなりました。卒業生の皆さん、卒業生55名の絆とともに、「明るく、元気に、たくましく」、そして、自信を持って大きく羽ばたいてください。皆さんを、いつまでも応援することをお約束し、式辞とします。

平成23年3月10日

広島市立広島特別支援学校長 中尾秀行